



2020年11月4日

各 位

会 社 名 株式会社リコー
代表者氏名 代表取締役 社長執行役員 山下 良則
(コード番号 7752 東証第1部)
問い合わせ先 広報室長 立石 信吾
電話番号 050-3814-2806

2021年3月期 連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月4日に公表しました「2021年3月期通期連結業績予想」および「2021年3月期配当予想」を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,780,000	10,000	8,600	3,600	3,600	4.97
今回発表予想(B)	1,664,000	△49,000	△50,300	△36,400	△36,400	△50.25
増減額(B-A)	△116,000	△59,000	△58,900	△40,000	△40,000	△55.22
増減率(%)	△6.5%	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	2,008,580	79,040	75,891	44,413	39,546	54.58

(2) 修正の理由

2021年3月期第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限の緩和が進んだことなどにより、国・地域による回復状況の濃淡は見られるものの、第1四半期を底に、第2四半期に徐々に業績の回復が進みました。しかしながら、9月中旬より、欧州を中心に感染者数の再拡大が始まり、10月に入ってから再び行動自粛要請や夜間外出禁止などの活動制限を実施する国も出始めるなど、回復の速度は当初想定より鈍化しています。

前回見直しにおいては、経済活動の回復を前提に下期からの業績回復を見込んでおりましたが、こうした状況から、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が不透明かつ長期化するリスクを想定せざるを得ないと判断い

たしました。これにより、当社の主要事業である、オフィスプリンティング事業を中心に業績へのマイナス影響が見込まれます。また、こうした状況を鑑み、来期以降の業績回復をより確実なものとするために、経費削減策の実施費用を追加することといたしました。

これらを反映し、今年8月に決算短信[IFRS]にて発表した売上高、売上総利益、営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益の見通しを、それぞれ下方修正しております。

なお、通期の想定為替レートについては当第2四半期連結累計期間の実績を反映しておりますが、第3四半期以降の為替レートは、1米ドル当たり105円、1ユーロ当たり120円と今年8月の想定から変更ありません。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	13.00	—	13.00	26.00
今回発表予想	—		—	7.50	15.00
当期実績	—	7.50	—		
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	—	13.00	—	13.00	26.00

(2) 修正の理由

当社は、持続的成長による中長期的な株価上昇と安定的な配当による、株主の皆様への利益還元拡大が重要であると考えています。

当連結会計年度の株主の皆様への配当金は、上記の業績予想の修正、投資とキャッシュ創出を踏まえたキャッシュフロー見通し、配当の安定性を鑑み、年間配当金予想を26円から15円に修正いたします。

(注) 上記の予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上